

【羊ヶ丘病院の“今”をお知らせ】



「手指衛生の重要性と実践」の院内講習会を開催しました

NEWS

2015年6月11日、感染対策の一環として「手指衛生の重要性と実践」をテーマとし、院内講習会が開催されました。

医療関連病原体の伝播は、ほとんどの場合、医療従事者の汚染した手指による生じると言われます。

患者さんを汚染から守り院内感染を防ぐために、いかに手指衛生が重要であるか、また具体的な手洗いの実践方法・消毒方法等を学びました。

実際に職員一人一人が手洗いを実践し、ブラックライトにて汚れを確認。汚れは残っていないか、残っているとしたら、どこが主に洗い漏れがあるのか、しっかり確認しました。



「手指衛生の重要性」をしっかり勉強



実践！ ブラックライトで汚れを確認



爪や指の股等は汚れが残りやすい部分です



洗い漏れは、ブラックライトで白く光ります